

平成25年2月10日

J R 北 海 道

列車の乗務員用乗降ドアが開いた事象について

平成25年2月9日(土) 14時22分頃 宗谷線 永山～北永山駅間を走行中の札幌 12時30分発 稚内行き 特急サロベツにおいて、ご乗車のお客様より「4号車のドアが開いている」との申告をいただいたため、車掌が確認を行ったところ、4号車と5号車の間(稚内方向に向かって左側)にある乗務員用乗降ドアが開いた状況であったため、当該ドアをすぐに閉めて鎖錠を行いました。

当該ドアは2月8日(金)にも、18時40分頃 函館線 伊納～妹背牛駅間を走行中の稚内 13時45分発 札幌行き 特急サロベツにおいても、ご乗車のお客様より「2号車のドアが開いている」との申告をいただいたため、車掌が確認を行ったところ、当該乗務員用乗降ドアは閉まっておりましたが、鎖錠がされていない状態であったため、鎖錠を行いました。なお、両日とも申告いただいたドアは同一のドアです。

2月8日(金) 稚内 13時45分発 札幌行き 特急サロベツと2月9日(土) 札幌 12時30分発 稚内行き 特急サロベツは同じ車両で運転しております。

当該の乗務員用乗降ドアについては、ドアの掛け金を針金で固定し、開かない措置をしております。

列車から転落されたりけがをされたお客様はいらっしゃいません。

原因は現在のところ特定できておらず、調査を行っております。